2017

杏林大学

早わかり ガイド

教育の特色

つながる４学部、広がる学び

医療系・文系の連携で特色ある教養教育

合同科目：学部混成クラスによる講義

杏林大学は文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」の採択を受けて地域に根差した教育・研究、地域貢献を推進しています。４学部の１年生の必修科目「地域と大学」では前期 15 回の講義のうち３回を４学部生混成クラスで行います。

１回目の「地域と大学」は４月 22 日に行われました。各教室では４学部の１年生がグループごとに着席し、三鷹市の医療・福祉政策について市の職員による講義を受けました。混成クラスによる２回の講義でグループワークなどが行われます。

推奨科目：他学部の学生に薦める科目

各学部で他学部の学生にも履修を奨励する「推奨科目」を設定しています。

推奨科目は「臨床医学入門Ⅰ」（医学部）、「救命救助法」（保健学部）、「社会福祉政策論」（総合政策学部）、「日本語学概論」（外国語学部）などがあります。

他学部履修：専門以外の分野を体験するチャンス

他学部に出向いて授業を受ける「他学部履修」で修得した単位は、学生自身の学部・学科で修得した単位として認定されます。

外国語学部 金田一秀穂教授の「日本語学概論」

こうした学部の枠を超えたつながりは、視野を広げ、豊かな教養を育む杏林大学ならではの特色です。

井の頭キャンパス施設紹介

学習と交流の拠点

井の頭図書館　本部棟（C 棟）2-4 階

館内には学習用の座席が 528 席（2 階：206 席、3 階：148 席、4 階：174 席）、リフレッシュルームなどの席を含めると 586 席あります。蔵書冊数は 17 万冊。

2 階はラーニングコモンズ、3 階は人文・社会科学系、4 階は自然科学系のフロアです。PC の貸し出しを 2 階で行っているほか、各階にサービスカウンター、リフレッシュルーム、プリント室が備わっています。

英語・中国語サロン　医学部・共用棟（F 棟）2 階

サロンでの使用言語は英語か中国語のみ。ネイティブの教員や留学生と会話を楽しみながら、異文化に触れることができる場所です。留学前後の語学力定着のために利用する学生も多くいます。

ライティングセンター　医学部・共用棟（F 棟）2 階

ネイティブ教員から英文のレポートや論文の添削指導が受けられます。高大接続事業の一環として整備されたため、杏林生のほか高校生も指導が受けられます。

高大接続プログラム　イベント（対象：高校生・杏林生）

6 月	ライティングセミナー	英文作成指導
8 月	英語キャンプ	英語宿泊学習
9･10 月	ライティングセミナー、スピーチコンテスト	英文作成指導、プレゼンテーション
12 月	ライティングセミナー	英文作成指導
3 月	トライリンガルキャンプ	日･英･中 宿泊学習

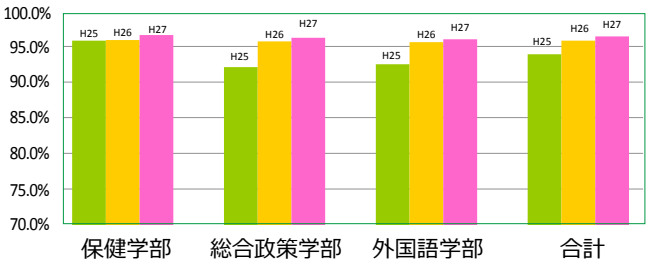
就職支援

高い就職率 96.4%

平成 27 年度卒業生の就職率は、総合政策、外国語、保健の 3 学部とも 96％台となり、3 学部を合わせると過去最高の 96.4％を記録しました。

27 年度の就職戦線は企業の会社説明会、採用選考の時期とも前年度より大幅に後ろにずれて長期戦になるとともに内定辞退者が相次ぐなど混乱しました。こうしたなか、本学の学生は就職活動に打ち込み最終的には高率の就職率を達成することが出来ました。
その理由は次のとおりです。

- 本学への企業の求人が約 2,330 件に上った
- 学部とキャリアサポートセンターが情報を共有し、連携を強めて学生の就職支援に臨んだ
- ほぼ毎月開いた学内企業説明会で計 79 人が内定を獲得した
- 企業の採用選考を模擬体験する就活イベントが成果をあげた



学部＼年度	25	26	27
保健学部	95.8%	95.9%	96.6%
総合政策学部	92.1%	95.7%	96.2%
外国語学部	92.5%	95.6%	96.0%
合計	93.9%	95.8%	96.4%

就職率＝就職者／就職希望者

総合政策学部

学びの基礎固めと GCP

「なりたい自分」が見つかる　専門分野につなげるベーシック科目

社会科学の基礎となる政治、経済、法律、国際関係、福祉政策、経営、会計の分野を学ぶ導入科目「ベーシック科目」。1 年生は全員この中から 5 科目以上の単位を修得します。幅広い学びの中で「なりたい自分」を見出し、2 年次からは 2 学科で計 7 コースにわかれ「なりたい自分」に役立つ専門的な学びを身につけていきます。

身近な問題から政治について考える「ベーシック政治」

授業では、少子高齢化、年金や医療制度などメディアでも頻繁にとり上げられるトピックスを例に、政治の役割について理解を深めます。

〔受講学生の声〕「ニュースなどで聞く言葉も詳しい解説でよくわかる。政治の基礎知識をしっかり学習して専門分野に進みたい」「出生率、超高齢社会、人口減少社会、働き方など将来のこととして身近に感じた」

社会生活は法で守られている「ベーシック法律」

私達の生活は常に法との関わりをもっています。授業では、具体的な事例を用いながら、そこにある法的な問題点や解決のための考え方を身につけます。

〔受講学生の声〕「とにかく、面白い。日常生活に法律が深く関わっていることがよくわかる」「法律の基礎は知っていたほうが絶対有利、と思える授業」

ビジネス･スキルと専門分野を英語で学ぶ グローバル･キャリア･プログラム（GCP）

「いまは英語が得意ではないけど、国際的な仕事に興味がある」。そんな学生達の想いを応援すべく、2016 年より GCP が新設されました。GCP では、1、2 年次の徹底した英語訓練を経て、論理的思考、発想法、プレゼンなどのビジネス・スキル、そして経済、経営、国際関係、保健福祉など総合政策学部が提供する専門分野を英語で学び、仕事で活かせるようにします。

〔受講学生の声〕「授業で毎日のように英語を耳にしているので、とても刺激になる。授業以外でも海外のラジオを YouTube で聞いたりしています」「週 2 ～ 3 回のペースで英語サロンに通っています。QQEnglish の英会話と並行して楽しく英語を身につけていきたい」

外国語学部

ことばを通して世界とつながる

日中英トライリンガル育成＋ホスピタリティマインドの醸成

企業活動のグローバル化、日本を訪れる外国人の急増、そして 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催など、いま語学力とグローバル的視野、ホスピタリティマインドを身に付けた人材への期待が高まっています。外国語学部では、英語・中国語・ホスピタリティをキーワードに「日中英トライリンガル人材」を育成しています。

目的別の授業に加え、e-learning や語学サロンで語学力アップ

会話や文法など目的別の授業のほかに、ネイティブスピーカーと会話ができる語学サロン、いつでもどこでも PC やスマホで勉強ができる e-learning、文章作成の練習ができるライティングセンターなど、外国語学習のサポート体制が充実しています。留学や就活に向けての集中的な語学力アップ、英語や中国語の検定試験対策も安心です。

海外留学・研修の奨励と支援

語学力の向上や異文化理解のために、海外留学・研修は非常に重要な機会です。外国語学部では、豊富な留学先を揃えるとともに、国際交流センターと協力して経済支援（奨学金など）、危機管理を含めたサポートを行っています。

特に中国語学科では、半数以上の学生が中国語圏での留学・研修を経験し、語学力を向上させています。

今川忠対勲さん（中国語学科 3 年）
2015 年 3 月から 2016 年 1 月まで北京第二外国語学院に留学

ゼロから中国語を学び始めました。少人数のクラスで、1 年次は文法など基礎をしっかり固め、中国語検定 3 級を取得しました。2 年次に 1 年間留学し、HSK6 級※を取得できる程の語学力が身につきました。

この 4 月からは、留学生と共に学べる環境を活かし、中国語と異文化理解の学習を深めています。

（語句説明）※ HSK6 級：中国の有名大学の学部に入学できるレベルの中国語力

保健学部

保健医療分野の専門家を養成

付属病院に近接　地の利に恵まれた教育環境

八王子キャンパスから井の頭キャンパスに移転したことにより、医学部付属病院まではわずかに700メートル。従来から三鷹キャンパスにあった看護学科看護学専攻に続き、すべての学科で最先端の医療現場がぐっと身近なものになりました。

医学部や付属病院との連携がさらに深まり、医療従事者を目指す学生にとっては模範となるような先生方の背中を見ながら臨地実習できる、他にはあまり例のない恵まれた教育環境です。

最新医療機器で充実した実習設備

たとえば診療放射線技術学科にある３テスラMRI装置。一般の病院にもないような先端機器で、教育・研究専用で設置する施設はきわめて稀です。

キャンパス移転にあわせて各学科で実習のための機器類が大幅に整備され、充実した実習設備が整っています。

高い資格取得率

全学科で担任制度をとり、在学中から卒業後まで教職員がきめ細かくサポートしています。看護師、保健師、助産師の国家試験合格率は100％など、高い資格取得率を誇ります。

2015年度国家試験合格率

	杏林大学（新卒）	全国（既卒含む）
社会福祉士	75.0%	26.2%
助産師	100.0%	99.8%
保健師	100.0%	89.8%
看護師	100.0%	89.4%
救急救命士	86.8%	86.1%
臨床検査技師	92.9%	76.4%
臨床工学技士	97.4%	72.5%
作業療法士	97.8%	87.6%
理学療法士	97.5%	74.1%

医学部

国際的に活躍しうる「良き医師」の育成

臨床実習の時間が 1.5 倍に　医療現場でより実践的な力をつける

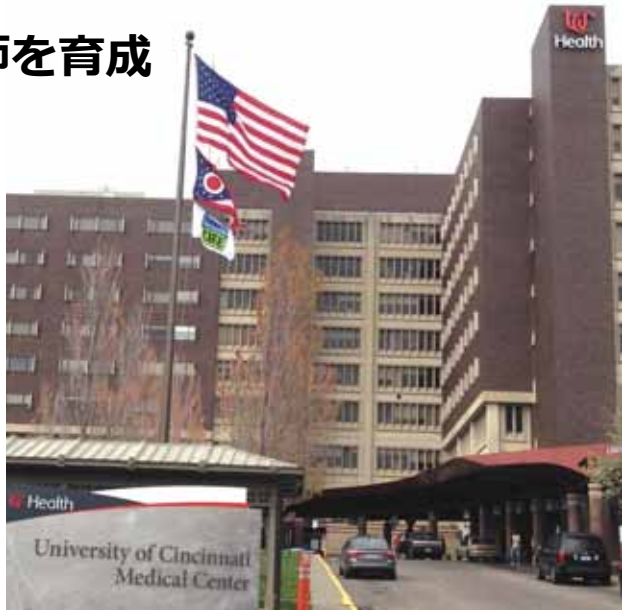
日本の医学教育では患者さんに接する「臨床実習」の期間が他国に比べて短く、国際的な基準を満たしていないことが全国の医科大学共通の課題となっています。そこで、杏林大学医学部では基準に対応するため臨床実習の期間を、診療参加型実習（クリニカルクラークシップ）を含めて 47 週間から 66 週間と大幅に延長する新カリキュラムを今春から開始しました。

カリキュラム改定により医療現場で過ごす時間を大幅に増やすことで臨床能力の更なる向上を図り、患者と良好なコミュニケーションができる医師を養成していきます。

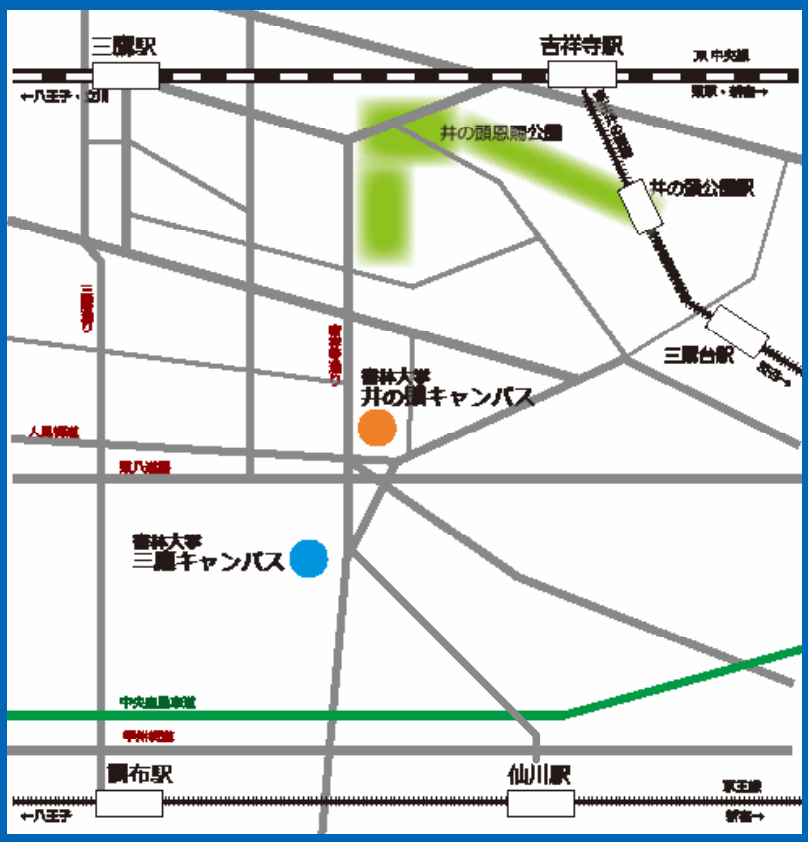
グローバルな視野を持った医師を育成

医学部では 6 年次の海外での診療参加型実習に積極的に取り組んでいます。平成 26 年度には 25 人が、昨年度も 15 人が海外の大学病院などに出向き、指導医の監督下で診療にも参加し、基本的なスキルを学びました。

医学の世界では最新情報の収集や論文発表は英語で行うため、英語は基本的なツールとして必要です。4 年次まで少人数による必修科目「英語・医学英語」があり、5 年次からは、さらに高度な英語力を身につけたいと希望する学生や、6 年次に海外での診療参加型実習を希望する学生を対象にした「英語・医学英語Ⅴ」を選択科目として設けています。



海外の臨床実習病院の一つ



杏林大学井の頭キャンパス
東京都三鷹市下連雀 5-4-1
tel：0422-47-8000（代）

杏林大学三鷹キャンパス
〒 181-8611
東京都三鷹市新川 6-20-2
tel：0422-47-5511（代）

●交通アクセス
三鷹駅、吉祥寺駅（JR 中央線・総武線）より小田急バス
調布駅、仙川駅（京王線）より小田急バス・京王バス

杏林大学　検索

杏林大学 Facebook

杏林大学 Twitter